

2014年 11月 28日

2015年3月期 第2四半期 決算説明会

第一実業株式会社

代表取締役社長 山片康司

証券コード：8059

1. 2015年3月期 第2四半期 決算概要

2. 事業概況

3. 2015年3月期 業績見通しおよび中期経営計画

◆ご参考資料

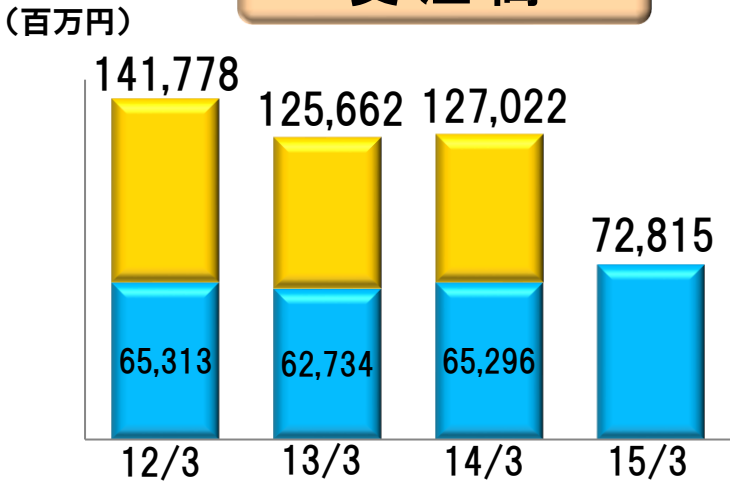
2015年3月期 第2四半期 決算概要

(百万円)

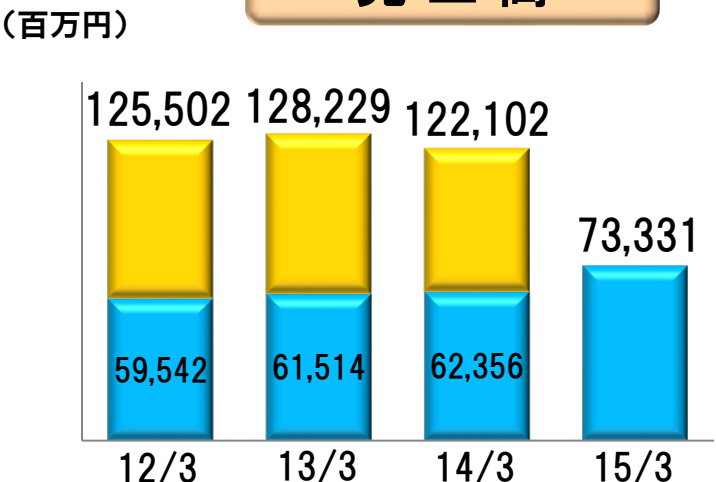
	14/3(2Q)	15/3(2Q)	増減
受 注 高	65,296	72,815	+7,519
売 上 高	62,356	73,331	+10,975
営 業 利 益	1,927	1,723	△203
経 常 利 益	2,099	1,982	△117
四 半 期 純 利 益	1,107	1,306	+199
1 株 当 たり 四 半 期 純 利 益	20.92円	24.61円	3.69円
自己資本四半期純利益率(ROE)	3.7%	4.1%	+0.4point
総資産経常利益率(ROA)	2.7%	2.3%	△0.4point

経営成績の推移(連結)

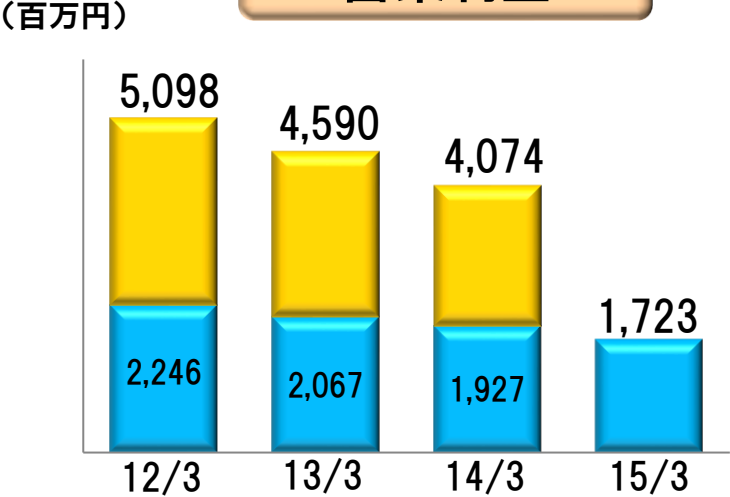
受注高



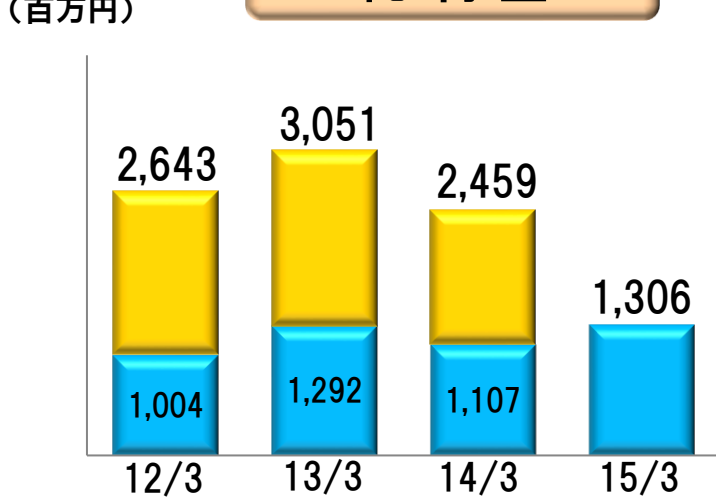
売上高



営業利益



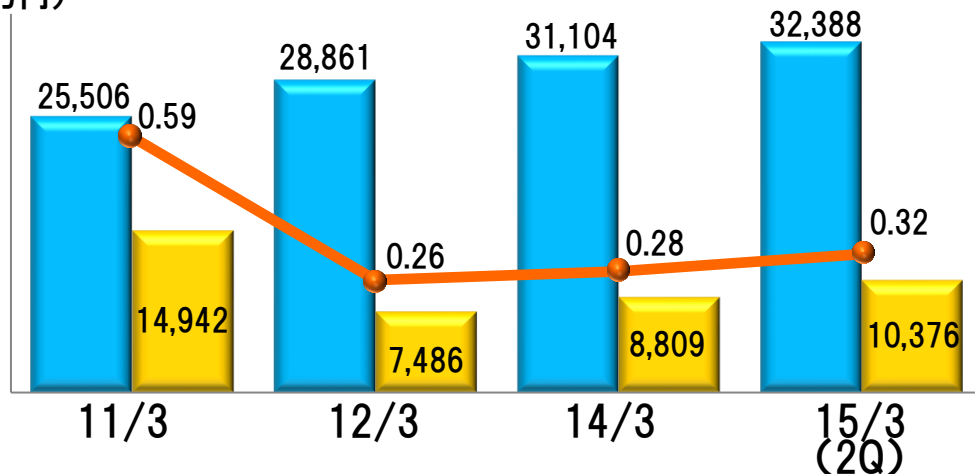
純利益



財務およびキャッシュ・フローの状況(連結)

■ 自己資本 ■ 有利子負債 —●— DER(倍)

(百万円)



	14/3	15/3 (2Q)	増減
自己資本	31,104	32,388	+1,284
有利子負債	8,809	10,376	+1,566
D E R	0.28倍	0.32倍	+0.04倍

DER = 有利子負債 ÷ 自己資本

- 営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前四半期純利益の計上などにより増加。
- 投資活動によるキャッシュ・フローは、バイナリー発電装置に係る製造販売権の取得などにより減少。
- 財務活動によるキャッシュ・フローは、バイナリー発電装置の製造販売権取得に係る長期借入金の借り入れなどにより増加。

(百万円)

	14/3(2Q)	15/3(2Q)	増減
営業活動によるキャッシュ・フロー	403	2,921	+2,518
投資活動によるキャッシュ・フロー	△90	△2,827	△2,737
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,661	1,203	+2,865
現金及び現金同等物の期末残高	11,511	14,617	+3,105

1. 2015年3月期 第2四半期 決算概要

2. 事業概況

3. 2015年3月期 業績見通しおよび中期経営計画

◆ご参考資料

受 注 高

(百万円)

	14/3(2Q)	15/3(2Q)	増減率
プラント・エネルギー事業	15,672	12,437	△20.6%
エレクトロニクス事業	15,914	21,140	+32.8%
産業機械事業	20,657	21,417	+3.7%
海外法人	12,229	16,496	+34.9%
その他	821	1,323	+61.1%
合計	65,296	72,815	+11.5%

売上高

(百万円)

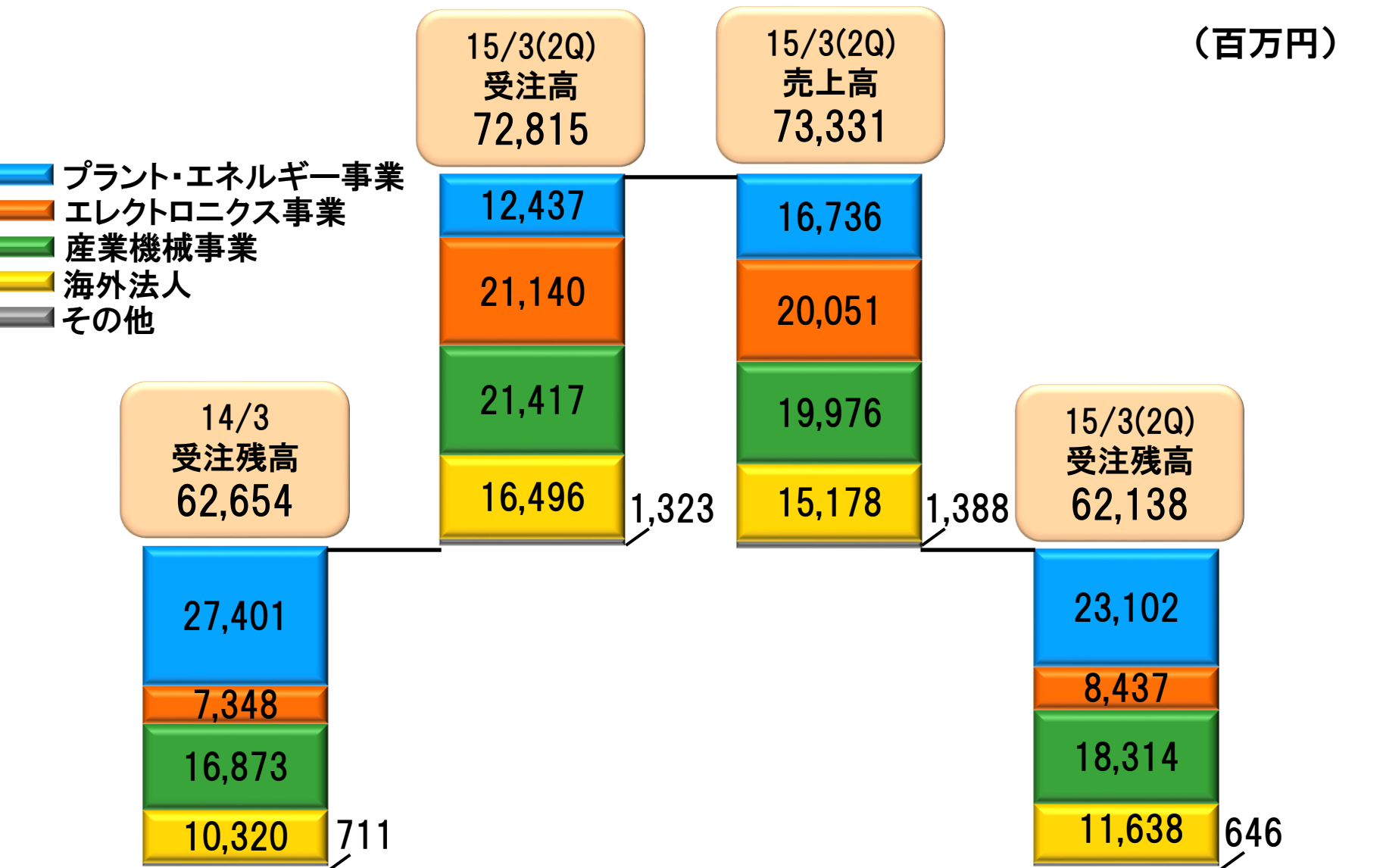
	14/3(2Q)	15/3(2Q)	増減率
プラント・エネルギー事業	15,964	16,736	+4.8%
エレクトロニクス事業	16,606	20,051	+20.7%
産業機械事業	17,302	19,976	+15.5%
海外法人	11,322	15,178	+34.1%
その他	1,160	1,388	+19.6%
合計	62,356	73,331	+17.6%

セグメント別受注高および受注残高(連結)



(百万円)

- プラント・エネルギー事業
- エレクトロニクス事業
- 産業機械事業
- 海外法人
- その他

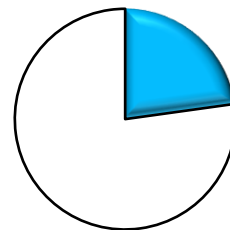


事業内容

プラント・エネルギー事業では、エネルギー開発分野(物理探鉱機器・解析ソフトウェア、陸上・海上用掘削リグ等)、エネルギー生産・精製分野(石油ガス・地熱生産地上システム、廃熱・風力・太陽光発電、石油精製プラント、石油化学プラント、エンジニアリング等)、製紙分野(製紙プラント等)に関連する機器・設備を取り扱っております。

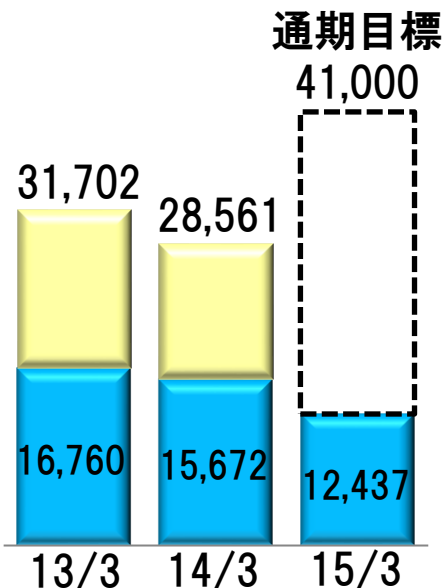
受注高 12,437百万円(前年同期比 20.6%減)

売上高 16,736百万円(前年同期比 4.8%増)

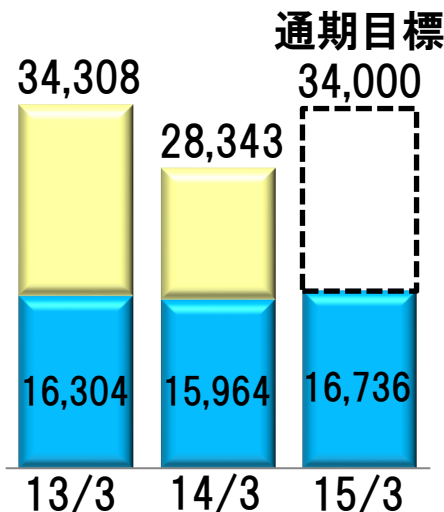


総売上高比率
22.8%

受注高



売上高



事業概況

- ・大手製紙会社向けのパルプ製造関連設備の大口受注があったものの、海外向け各種プラント用設備の大口案件の受注が少なく、受注高は減少した。
- ・石油会社向けのエチレンプラント用設備や、大手エンジニアリング会社経由の海外向け天然ガスプラント用設備等の大口案件の売上計上があり、売上高は増加した。
- ・今後は、中国、東南アジア、中東エリアにおけるプラント用設備の拡販に注力するほか、再生可能エネルギー分野への取り組みを強化する。

バイナリー発電装置ビジネスについて

商談中のプラント

- 【●商談中】
- 北海道・東北地方: 9基
- 関東地方: 14基
- 中部地方: 7基
- 近畿・中国地方: 4基
- 九州・沖縄地方: 29基
- 海外: 2基



稼働中・建設中のプラント

- 【●稼働中】
- 焼却プラント: 6基
- 温泉地熱プラント: 5基
- 【●建設中】
- 焼却プラント: 1基
- 温泉地熱プラント: 4基

エレクトロニクス事業(連結)

事業内容

エレクトロニクス事業では、電子部品実装機(SMT)をはじめとする半導体・液晶モジュール組立関連装置、各種検査機器、周辺機器を取り扱っております。

受注高 21,140百万円 (前年同期比 32.8%増)
売上高 20,051百万円 (前年同期比 20.7%増)

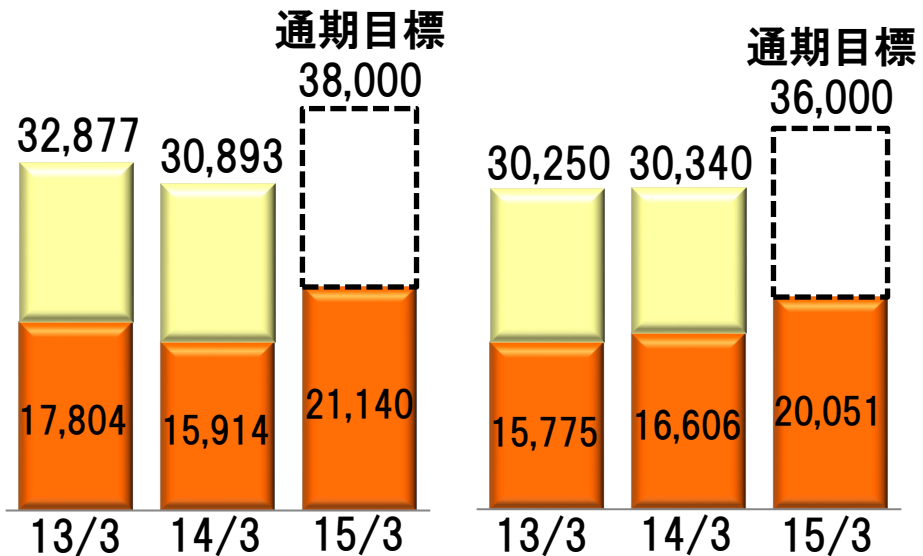


総売上高比率
27.3%

受注高

売上高

事業概況



- ・中国・ベトナム向けを中心に設備需要が好調に推移し、受注高・売上高ともに大幅に増加した。
- ・国内では大手電機メーカーや電子部品製造会社向けの大口案件を受注し、当期中に売上を計上した。
- ・スマートフォンやタブレット端末の生産シェアの争いが激化していることから、今後は、未開拓地域の攻略、新商材を含めた高付加価値のある製造プロセスの提案など市場シェアの底上げを目指す。

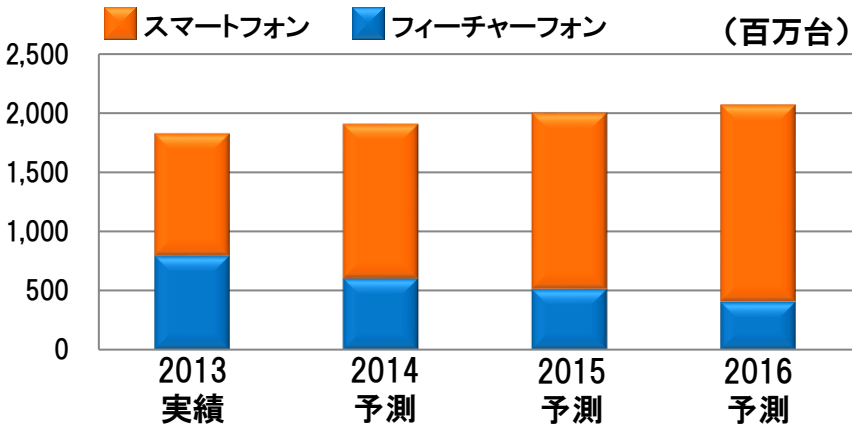
エレクトロニクス事業の今後の取り組みについて

SMT関連設備のグローバル市場



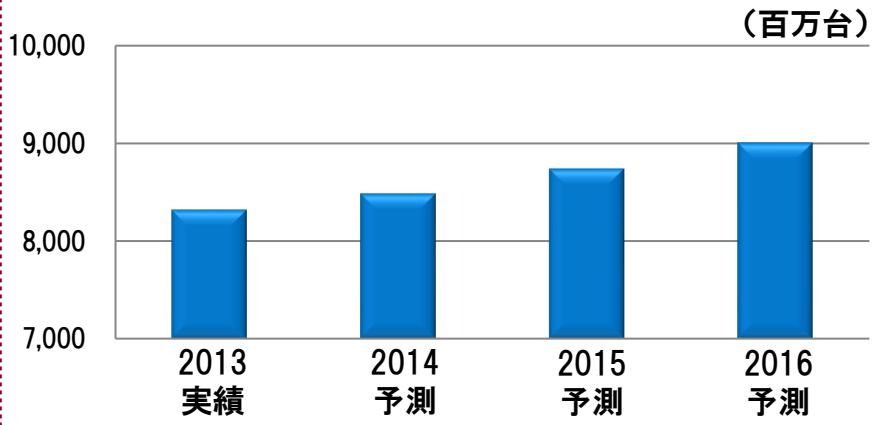
ICT業界

■スマートフォン、フィーチャーフォン生産台数の推移



自動車業界

■自動車生産台数の推移



出典: パナソニック ファクトリーソリューションズ株式会社推定

産業機械事業(連結)

事業内容

産業機械事業では、自動車関連業界・食品関連業界向けに射出成形機・押出成形機・真空成形機・塗装機器等、医薬品関連業界向けに錠剤検査機器等、航空関連業界向けに航空機用デアイサー・トーイングトラクター・消防関連特殊車両・除雪車等、二次電池関連業界向けに焼成炉等を取り扱っております。

受注高 21,417百万円(前年同期比 3.7%増)

売上高 19,976百万円(前年同期比 15.5%増)

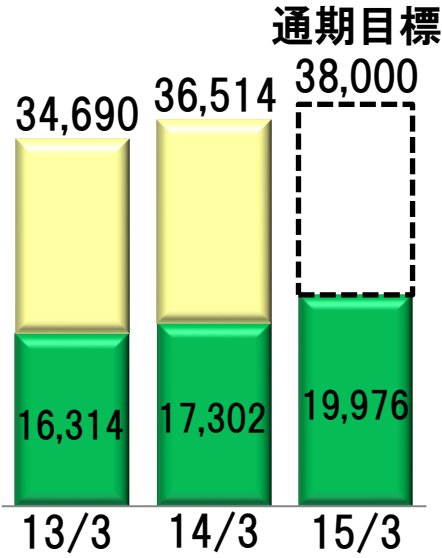
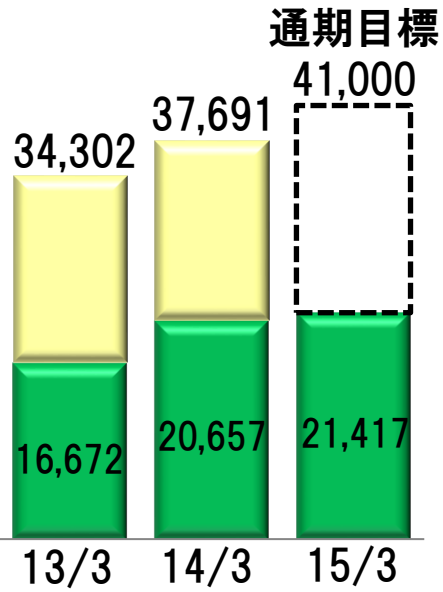


総売上高比率
27.2%

受注高

売上高

事業概況



- ・北中南米・東南アジアを中心とした自動車関連業界向け設備や、リチウムイオン電池製造関連業界、製薬業界向け設備等の需要が好調であったため、受注高・売上高ともに増加した。
- ・官公庁向けの防災関連機器の納入が順調であった。
- ・今後は、新商材の開発などにも注力し提案の幅を広げ、自動車関連業界、食品業界、医薬品業界へのさらなる深耕を図る。

メキシコでの自動車関連ビジネスについて

DJK GLOBAL MEXICO, S.A. DE C.V.

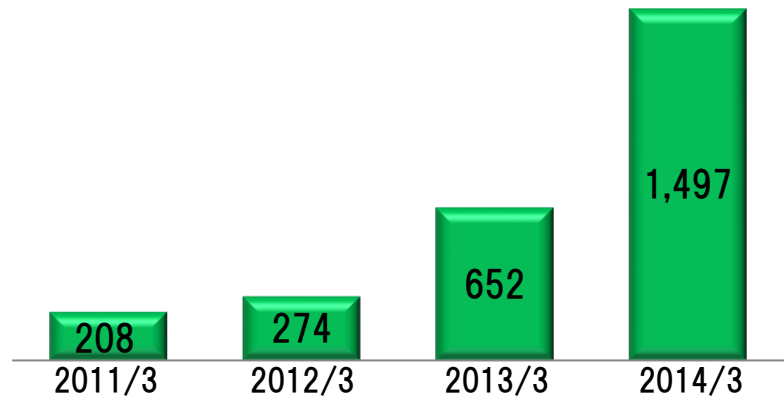
■所在地



ケレタロ本社

■売上高

(百万円)



工場の立ち上げに係る業務の一括受注

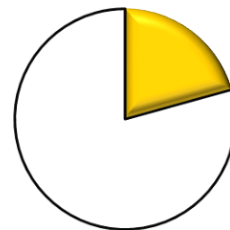


事業内容

世界四軸体制を構成する海外現地法人は、当社が国内で取り扱っている各種機械・機器の販売をするほか、それぞれのエリアでの直接仕入れ・販売も行っております。

受注高 16,496百万円 (前年同期比 34.9%増)

売上高 15,178百万円 (前年同期比 34.1%増)

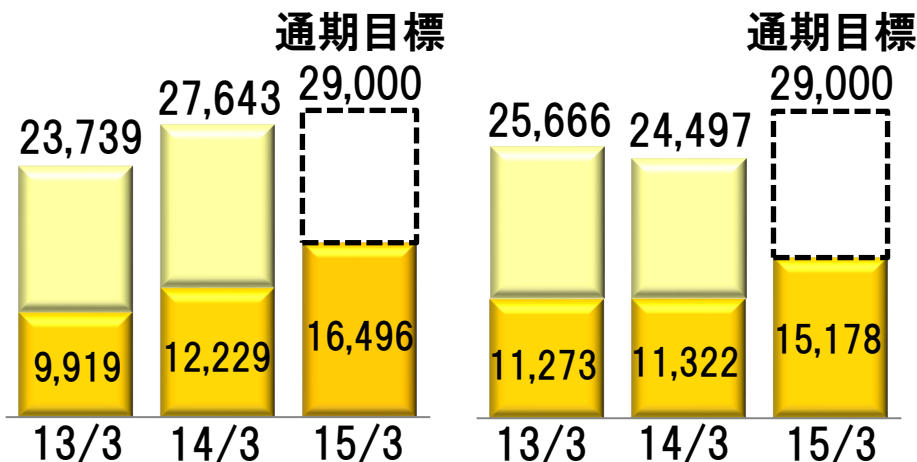


総売上高比率
20.7%

受注高

売上高

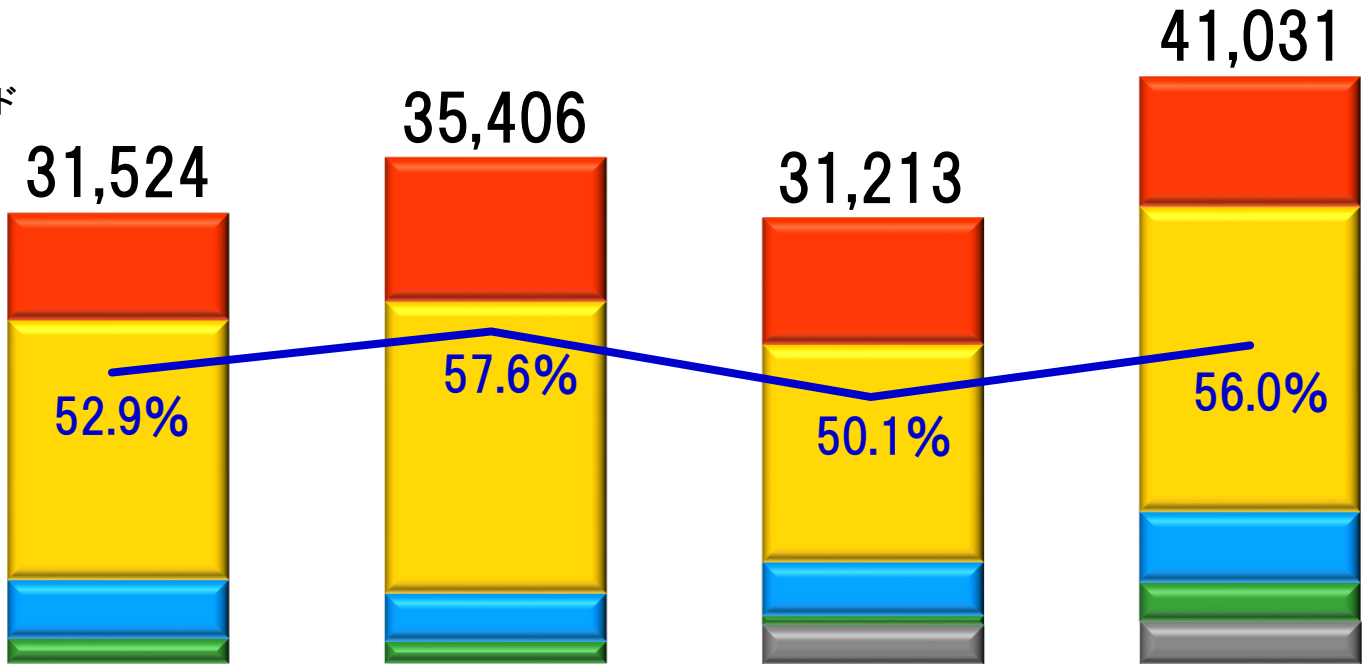
事業概況



- ・アジア地域における電子部品実装関連設備や車載関連機器の製造装置等の販売が好調であったほか、欧州向けの自動車関連業界向け設備の大口案件があり、受注高・売上高ともに増加した。
- ・今後も好調に推移することが予想されるアジア諸国や新興国における設備需要に対し、受注活動を強化する。

海外売上高(連結)

- 中国
- 東南アジア・インド
- 米州
- 欧州
- その他
- ◆ 総売上高比率



(百万円)

	12/3(2Q)		13/3(2Q)		14/3(2Q)		15/3(2Q)	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比
中国	7,478	23.7%	10,054	28.4%	8,859	28.4%	9,067	22.1%
東南アジア・インド	18,166	57.6%	20,430	57.7%	15,249	48.9%	21,347	52.0%
米州	4,103	13.0%	3,359	9.5%	3,748	12.0%	4,942	12.1%
欧州	1,750	5.6%	1,525	4.3%	663	2.1%	2,725	6.6%
その他	25	0.1%	35	0.1%	2,691	8.6%	2,948	7.2%
合計	31,524	100.0%	35,406	100.0%	31,213	100.0%	41,031	100.0%
総売上高比率	52.9%		57.6%		50.1%		56.0%	

血液透析器(ダイアライザー)用回路組立装置



ドイツ大手医療器具製造会社の中国工場向けに血液透析器用回路の組立装置を納入いたしました。
中国においては人口の増加および生活水準の向上により人工透析の利用者数は増加傾向にあります。
世界的に見ても血液透析器の需要は高まっており、今後の増産体制に対応すべく本装置の販売に注力してまいります。

高度医療用商品

地域医療を支える地方の病院や診療所においては高額な医療装置の導入が進みにくい現状があります。

そのような医療事情を改善し地域医療の充実を目指す国内のメディカルサービス会社向けにオランダ製のMRI搭載用トレーラを納入いたしました。本車両は日本の道路や駐車場に適合するコンパクトな設計であるほか、バリアフリー仕様になっております。

お取引先のニーズにお応えした商品を販売することにより、より安心・安全に暮らせる社会の実現に貢献してまいります。



1. 2015年3月期 第2四半期 決算概要

2. 事業概況

3. 2015年3月期 業績見通しおよび中期経営計画

◆ご参考資料

2015年3月期 業績見通し

(百万円)

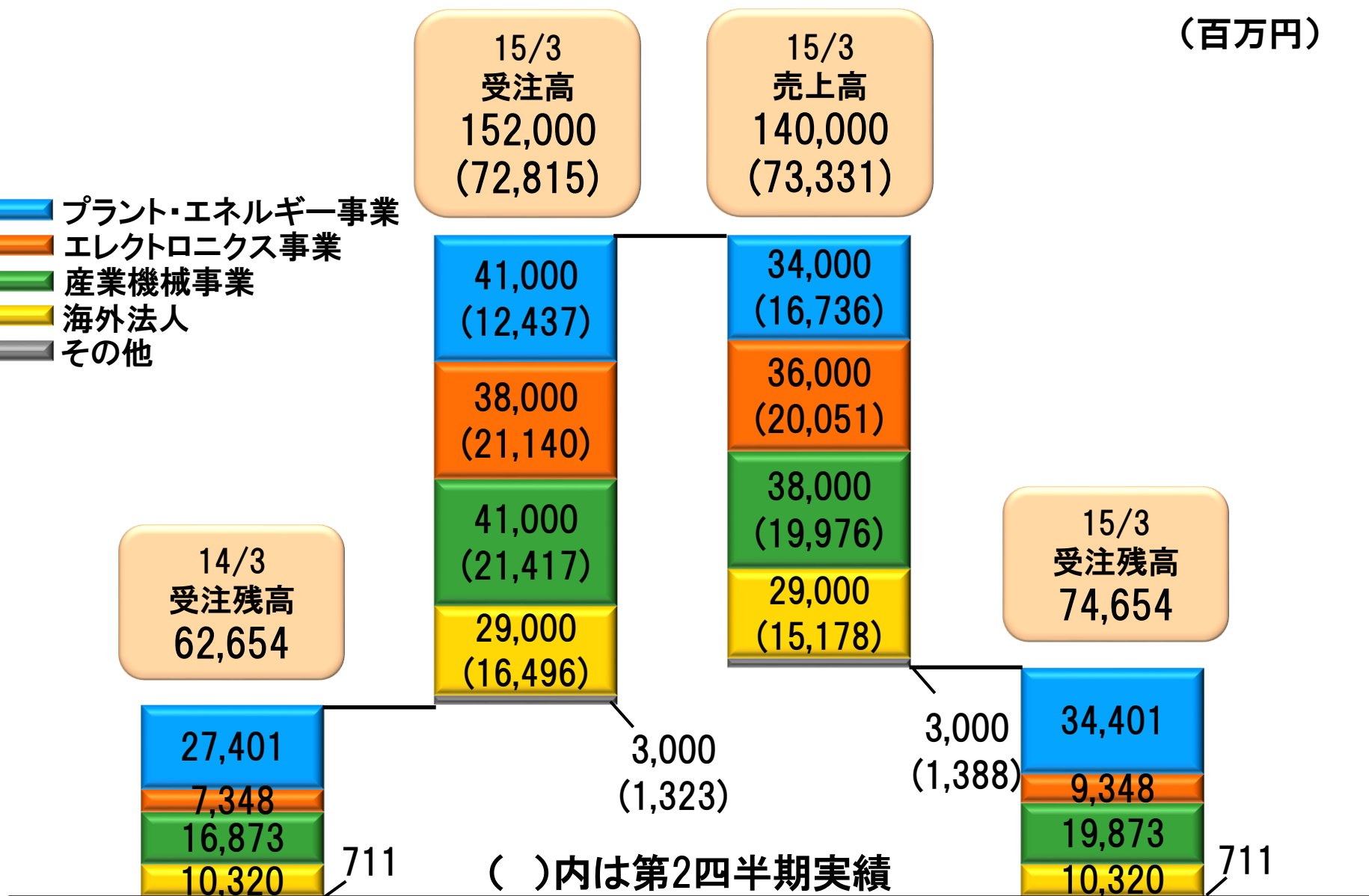
	14/3 実績	15/3 予想	増減
受 注 高	127,022	152,000	+24,978
売 上 高	122,102	140,000	+17,898
営 業 利 益	4,074	5,000	+926
経 常 利 益	4,475	5,200	+725
当 期 純 利 益	2,459	3,200	+741
1株当たり当期純利益	46.45円	60.19円	+13.74円

2015年3月期 セグメント別受注高および受注残高見通し



(百万円)

- プラント・エネルギー事業
- エレクトロニクス事業
- 産業機械事業
- 海外法人
- その他



AIM2015

Aggressive Innovation for Multi-functional Global Business

多機能性を持ったグローバルビジネスへの積極的革新！



多機能性を持ったグローバルビジネスへの積極的革新！

定量目標（連結経営目標）

	13/3 実績値	16/3 目標値
売上高	128,229	155,000
営業利益	4,590	5,700
経常利益	4,925	5,900
当期純利益	3,051	3,700
総資産	81,478	92,000
自己資本	28,861	36,000
有利子負債	7,486	8,000
ROE (%)	11.2	10.7

定性目標（基本方針の内容）

I. 事業軸経営への移行によるビジネスの拡大

- ① グローバルなビジネスを徹底捕捉
- ② 広範囲な営業力とエンジニアリング集団としての強み、高付加価値の創造

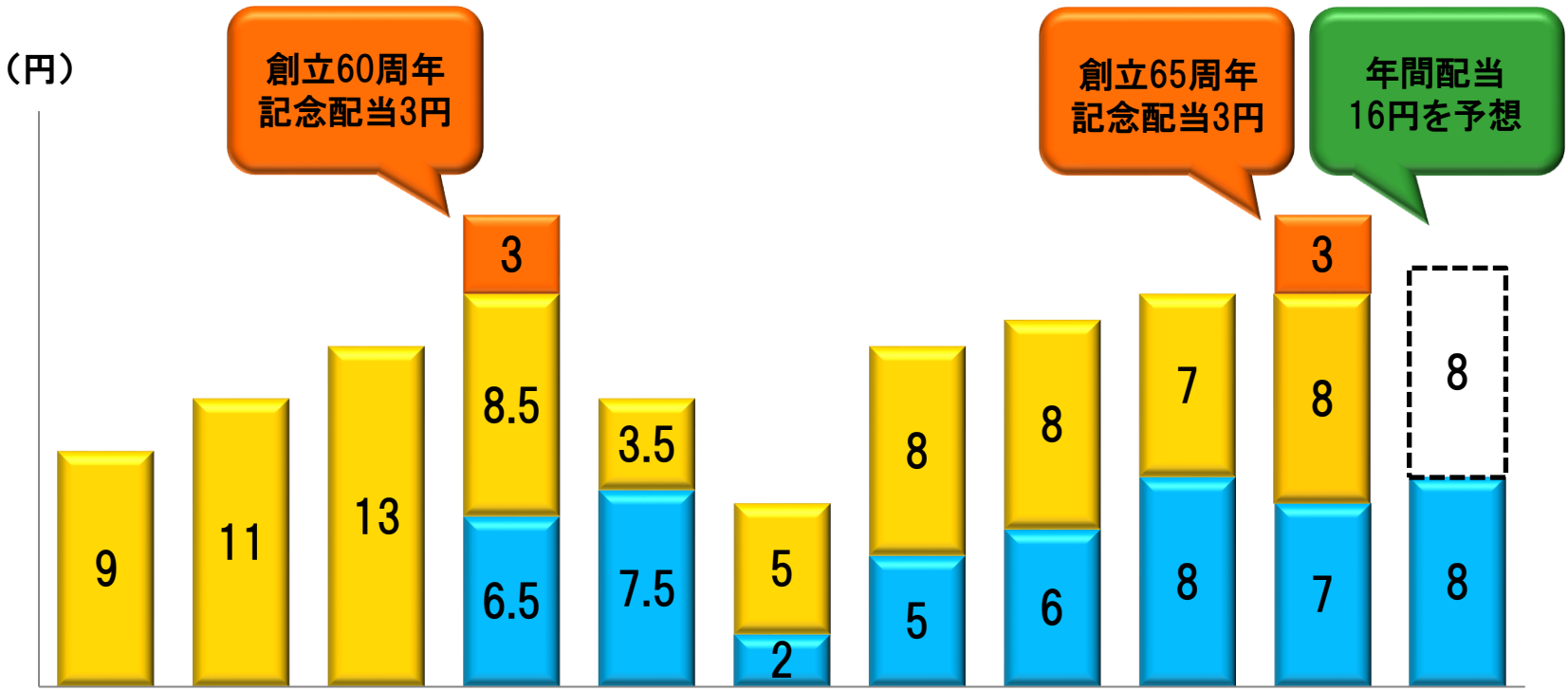
II. 事業軸経営への移行と経営強化・効率化の推進

- ① 事業軸経営システムの整備・転換
- ② 意識改革および人財の育成
- ③ 財務体質の更なる強化

配当金の推移・配当性向

■ 当社は、業績に応じた適正な配当を実施することを基本方針としており、株主・役職員・会社と三位一体のバランスのとれた利益配分を念頭に置いております。
 内部留保は中長期的展望に立って効率的に活用してまいります。

■ 中間配当 ■ 期末配当 ■ 記念配当



	05/3	06/3	07/3	08/3	09/3	10/3	11/3	12/3	13/3	14/3	15/3
配当性向: 連結(%)	26.7	27.2	27.5	34.1	42.7	100.4	27.7	27.7	25.9	38.8	26.6 (予想)

ご清聴ありがとうございました

お問合せ先 IR・広報部

TEL: 03-5214-8611 FAX: 03-5214-8503

E-MAIL: djk_ir@djk.co.jp

HOME PAGE: <http://www.djk.co.jp/>

東京都千代田区二番町11番19号



第一実業株式会社

本資料に記載されている当社の業績見通し、経営目標、その他歴史的事実でないものは、現時点での入手可能な情報に基づき、将来の業績に関する見通しを示したものです。実際の業績は様々な要因によりこれらの業績見通しとは大きく異なる結果となり得ることをご承知おきください。

◆ご参考資料

1 会社概要



2 創業の精神



3 DJKの歩み
since
1948



4 ネットワーク展開



5 ソリューション
ビジネス



6 直近15年の
経営成績

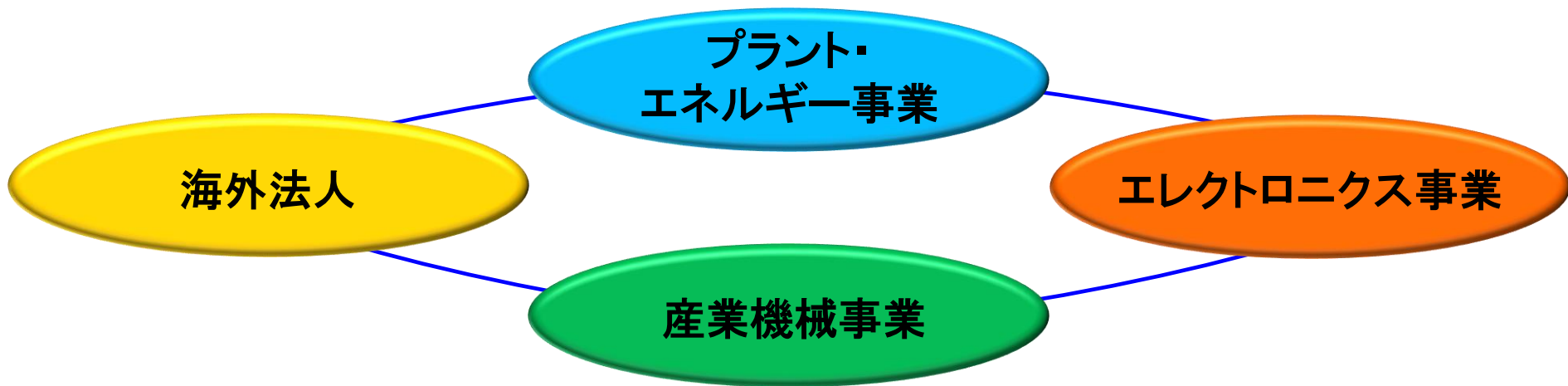


7 CSR



社名	第一実業株式会社
設立	1948年8月
資本金	5,105百万円
従業員数	単体 418名 連結 1,081名
グループ会社	国内 8社 海外 20社
事業所	国内 7拠点 海外 36拠点

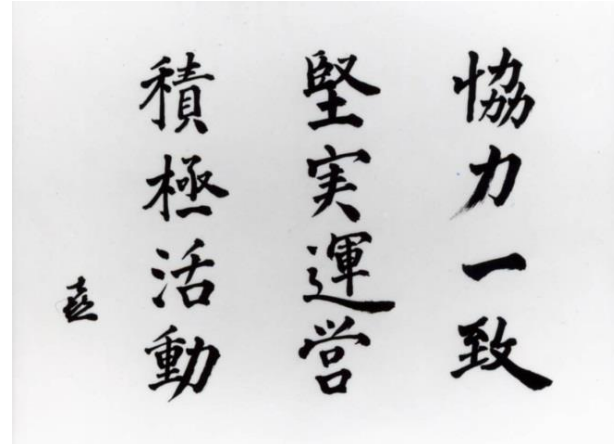
当社は、**各種産業用機械のトップサプライヤー**として**グローバル**に活動を行っている**総合機械商社**です。



脈々と受け継がれる創業の精神



初代社長 倉持正次郎



創業後に制定された社是三原則。創立65年を過ぎた現在もなお企業風土に脈々と受け継がれております。

第二次世界大戦終結後、さまざまな産業分野を独占していた財閥が解体され、市場に競争原理が導入されました。このときに解体された「浅野財閥」に関わる人財の中から、後の第一実業株式会社の創業メンバーが輩出されました。

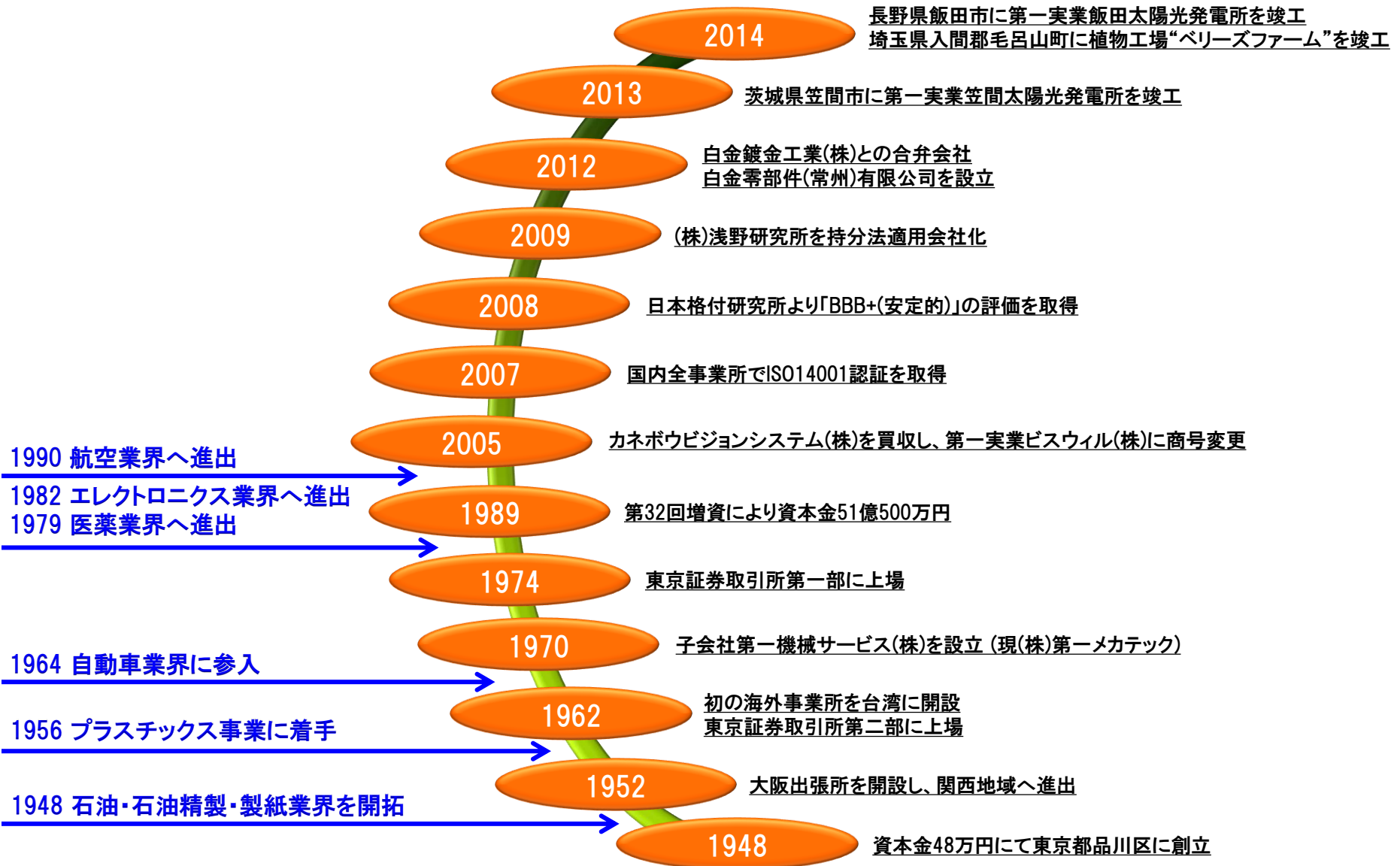
1948年(昭和23年)8月12日、後に初代社長となる倉持正次郎を含む全7名を発起人として会社を設立。商号を「**第一実業**」と定め「**機械専門の商事会社**」としての一步を踏み出しました。

倉持は、当時横行していた闇取引を一切認めず、下記のことを徹底いたしました。

1. 機械の売り買いのみに徹する
2. 大企業・一流企業を取引相手とする
3. 銀行との信頼関係を大切にする

投機性のない商売を地道に続け、信頼できる相手を選び、毎月銀行に業績報告し続けた結果、当社は**誠実で堅実な企業**として周囲の信頼を獲得し、着実に成長してまいりました。

このような精神は、現在の当社に深く根付いております。



海外事業所



米州

シカゴ
ヒューストン
ノックスビル
プエルトリコ
ケレタロ

サンパウロ
マナウス

中国

上海
天津
蘇州
広州
重慶
香港
深圳
武漢
瀋陽
常州

東南アジア・インド

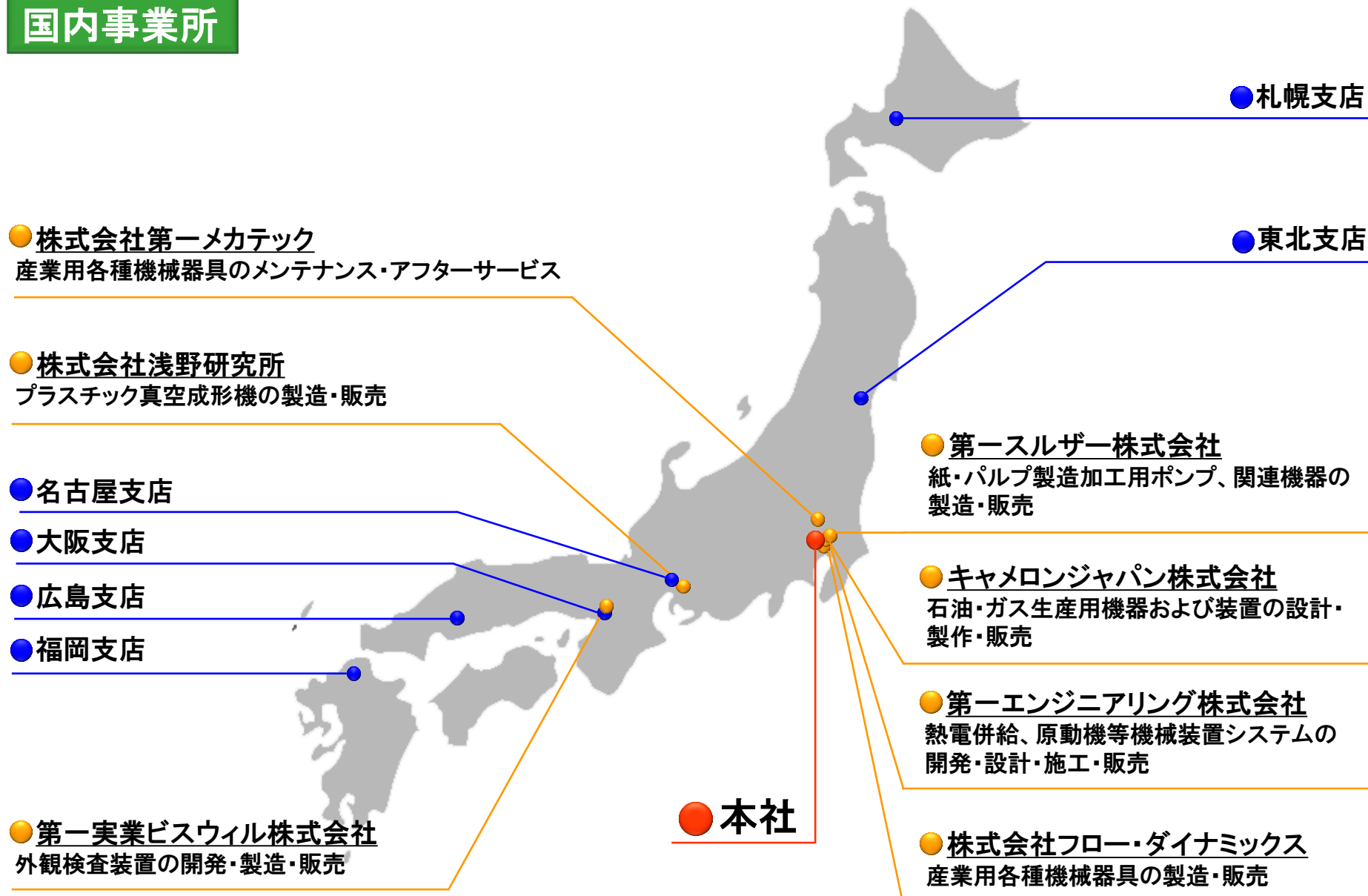
シンガポール
バンコク
ホーチミン
マニラ
ニューデリー
ピンツル
クアラルンプール
ジャカルタ
ハノイ
ラグナ

バンガロール
アーメダバード
台北
ソウル
ドーハ

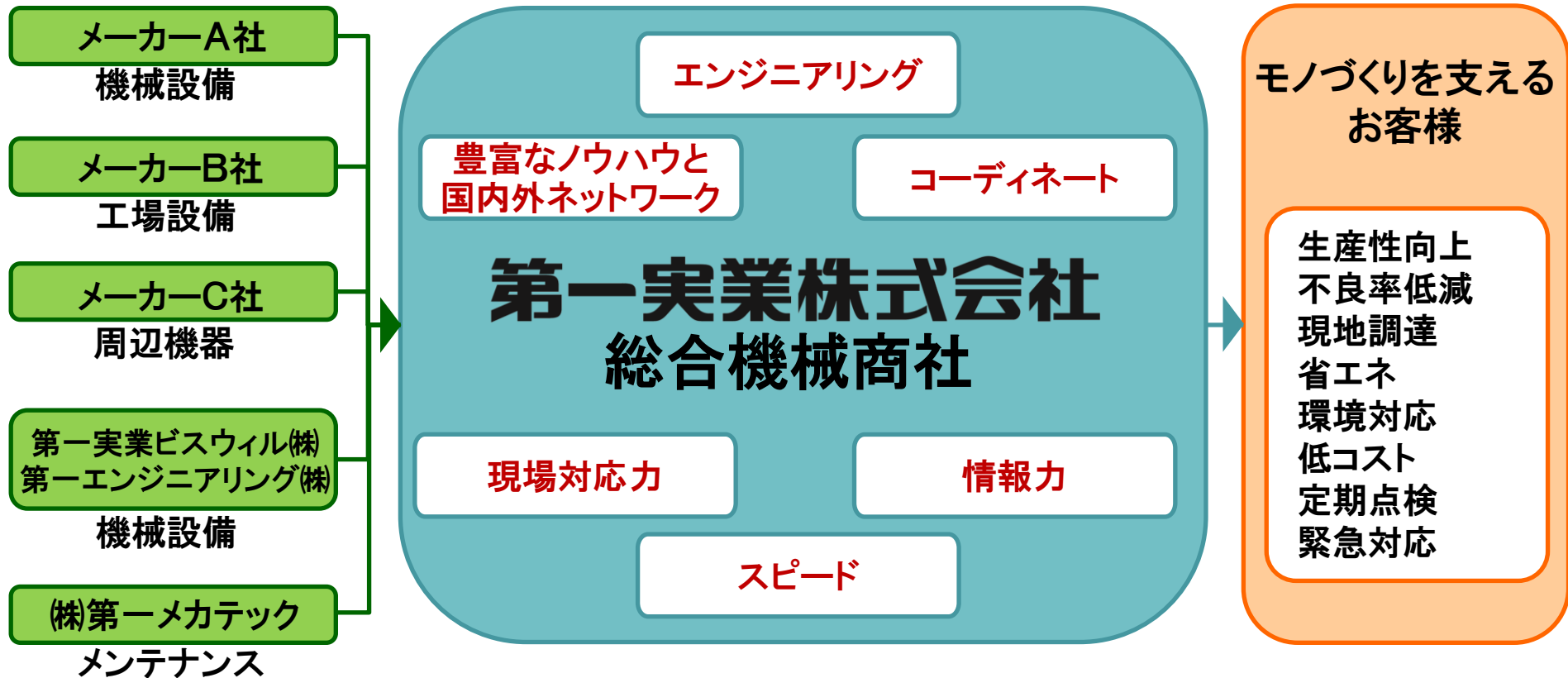
欧州

フランクフルト
プラハ
ブダペスト

国内事業所



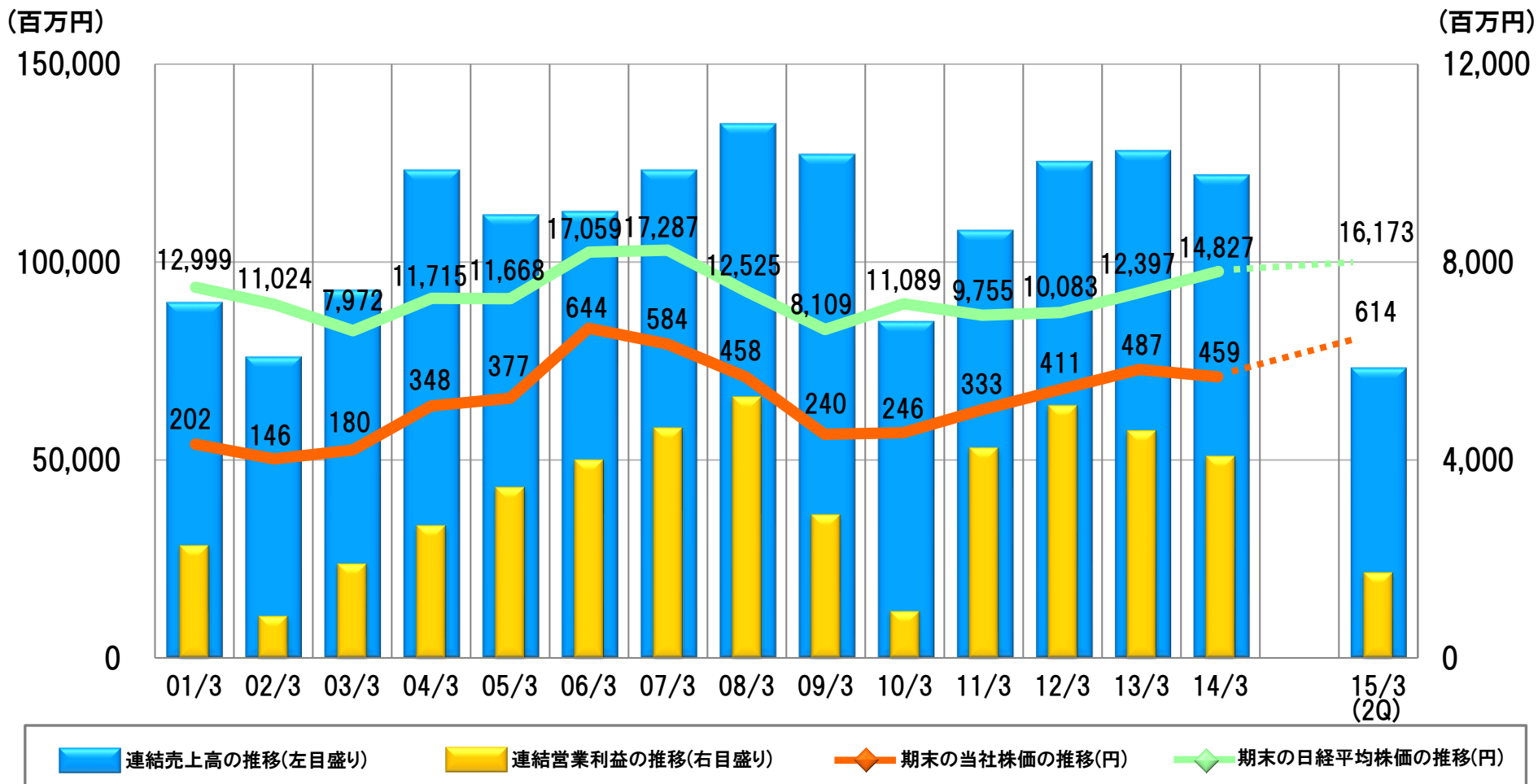
お客様の利益に貢献するグローバル・ビジネス・パートナー



6 直近15年の経営成績



経済	★ ITバブル崩壊	★ 中国GDP イタリア抜き6位 ★ 原油価格高騰 →	★ リーマン・ショック発生 ★ スマートフォン普及加速 →
その他	★ アメリカ同時多発テロ発生		★ 東日本大震災発生



当社グループは世界に通用する優良企業を目指して社会的責任の役割を果たし、ステークホルダーの皆様とともに持続的な社会の実現してまいります。

安全で良質な商品・サービスの提供による顧客満足度の向上

コーポレート・ガバナンスの充実
および内部統制システムの整備・強化

環境配慮商品の積極的拡販

株主価値の向上

ステークホルダー等に対する
積極的情報開示

地域社会活動の貢献

社会貢献活動

未来のエンジニアを育成



当社は総合機械商社として、子供たちに“ものづくり”の楽しさを伝えるため、ロボット教室、ロボットコンテストへの協賛を行っております。未来の“ものづくり”を担う子供たちが科学技術を身近に体験しながら、創造性と問題解決力を育成できる活動の場となるよう支援してまいります。

その他の社会貢献活動

日本赤十字社への寄付

国内外の災害地域への義捐金の拠出

ユニセフへの外国コイン募金活動

エコキャップ活動

近隣小学校へのニュース掲示板の寄贈等

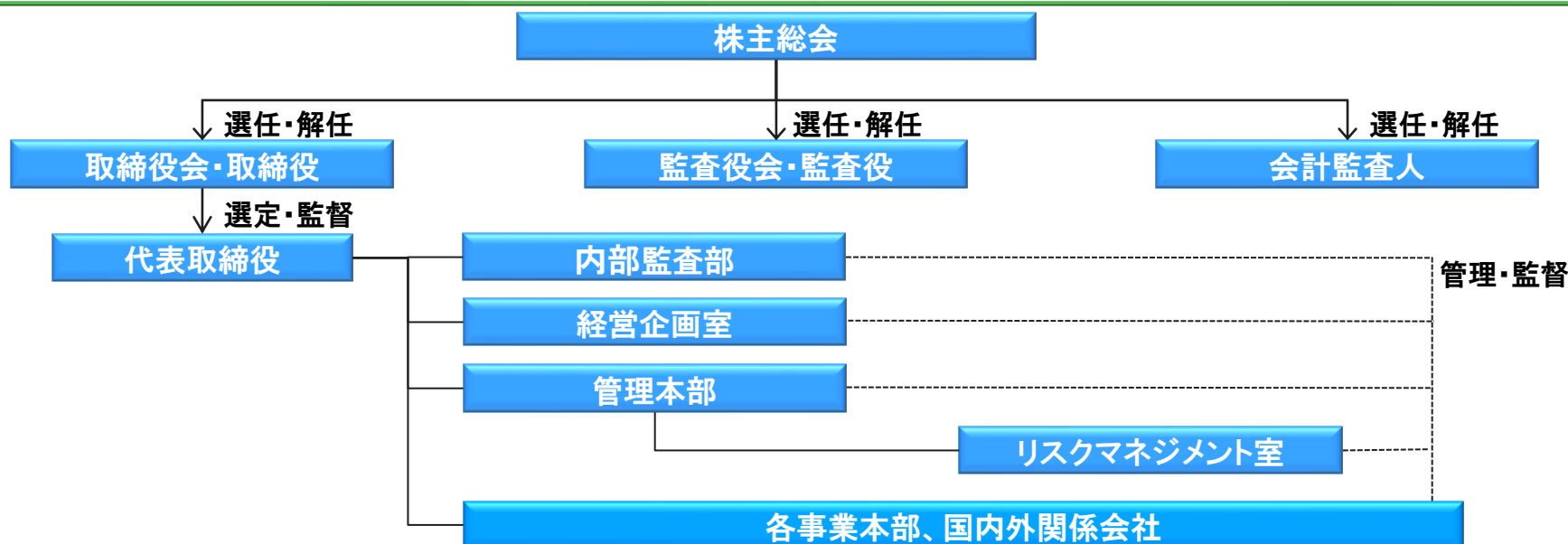
人財育成

ナショナルスタッフへの研修



企業のグローバル展開が進む中、当社グループでは1,000名を超える社員が世界各地で働いております。海外のナショナルスタッフに対し、定期的に当社の企業理念や経営方針をテーマとした研修を行うことにより、企業文化の浸透や海外事業の強化を図ってまいります。

コーポレート・ガバナンス



投資家の皆様に対する行動規範

ディスクロージャー

役職員は投資家の皆さまに対し、投資判断に関わる重要な情報を正確にお伝えしてまいります。それらの情報の多くは、投資家の皆さまが理解しやすい形で公表いたします。

正確な記録

ディスクロージャーの前提は、正確な記録です。ビジネスに関するあらゆる情報は、法令・ルールに従い、正しく記録いたします。

内部監査の重視

当社は、投資家の皆様の利益を守るため、中立的な観点からビジネスのあり方をチェックする内部監査システムを整備し機能させてまいります。

投資家とのコミュニケーション

投資家の皆様には、私たちが「利益と倫理が相反する場合、倫理を選択すること」を確認し、それが結果として会社の利益になることをお伝えしてまいります。